

## 総務庁長官特別賞・全国特選受賞

### —平成3年度茨城県統計グラフコンクール—

第42回茨城県統計グラフコンクールは、応募作品11,404点、応募者23,821人で全国第1位という多くの方々の参加を頂きました。

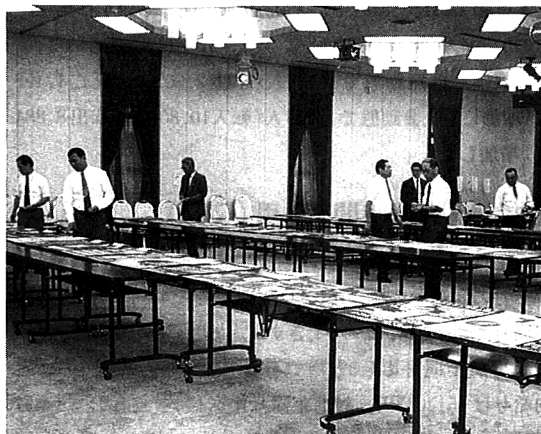
作品の傾向としては、本県は従来から紺系統の寒色を基調にした作品が多かったのですが、本年度の作品を見ると色々な手法を駆使し、全体のイメージが明るいものが多く見られました。

また、テーマの選択についても、小学生低学年は、夏休みの過ごし方、好きな虫、家族のことなど身近な素材を選んだものが多く、高学年になるとゴミ問題、環境問題、学校5日制、ゴルフ場問題、中学生になると、農産物自由化、外国人労働者問題などマスコミからの情報等を活用して社会の事象を適切にとらえてまとめています。

審査は、県内5地区において地区別審査がまず行われ、作品433点が選ばれました。これらの作品についての最終審査は9月19・20日の両日、県審査員10名全員参加のもとに厳正に行われ、知事賞4点、県議会議長賞4点等入賞作品68点が最終的に選ばれ、このうち特に優秀な作品18点については、全国コンクールに出品しました。

これらの入賞者については、11月20日県民文化センターにおいて開催される第33回茨城県統計大会の席上で表彰が行われ、賞状と副賞品が贈られます。

なお、これら入賞作品については、12月19日から23日までの5日間、水戸駅前川又書店において展示し、一般の皆様方にご覧頂きます。その後、各小・中学校を巡回展示する予定になっています。



県審査会

第39回統計グラフ全国コンクールについて述べますと、全国で68,757点の応募作品があり、このうち各県から中央審査に出品された785点について、10月8日に審査会が行われました。

この結果、本県出品作品から12点が入賞し、うち1点(小学生低学年の作品)は総務庁長官特別賞・全国特選に輝き、入賞作品数においても全国1位となり、本県の統計グラフの作成活動はここ数年間、質・量とも全国のトップレベルを維持し「統計茨城」の名にふさわしい結果であるといえます。

特選の表彰については、11月14日に三重県四日市市の四日市文化会館において開催される第42回全国統計大会の席上、水海道市立菅原小学校2年・吉澤杏奈・渡辺晃子さんが小学生の部の全国代表として受賞いたします。

次に、県知事賞受賞作品及び本県の全国コンクール特選受賞作品を紹介します。

(統計課・普及指導グループ)

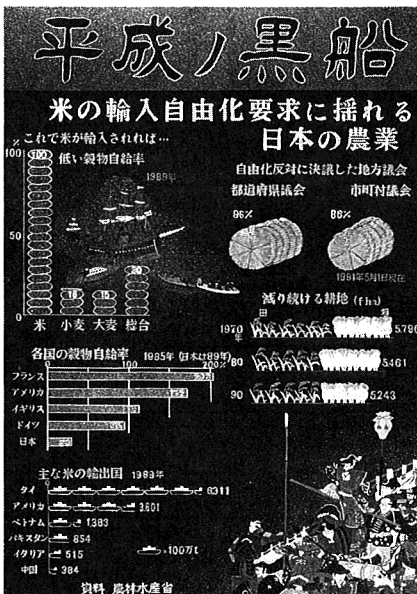
〔知事賞受賞作品〕



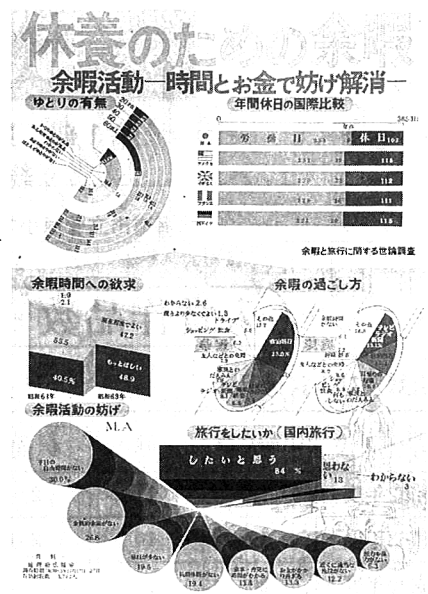
〈1部〉 知事賞・全国佳作  
藤代町立宮和田小学校2年  
嶋田則子



〈2部〉 知事賞・全国入選  
大和村立大国小学校5年  
飯島亮子・猪野奈穂美・増淵由馨・渡辺美樹



〈3部〉 知事賞・全国入選  
結城市立結城東中学校1年  
飯塚ちひろ・羽染智子・木村優子・野辺麻理恵・北篠裕子



〈5部〉 知事賞  
つくば市大字東岡556  
倉田廣之



第1部 県議会議長賞・全国特選  
総務庁長官特別賞

水海道市立菅原小学校2年 吉澤杏奈・渡辺晃子

入賞作品数・連続全国第1位を確保

出品点数及び入賞状況

年度	区分	出品点数	計	1部	2部	3部	4部	5部	パソコンの部	特選
昭和62年度		18	11	2	2	4	1	2	—	—
昭和63年度		19	10	2	2	5	—	1	—	1
平成元年度		20	12	3	2	3	—	4	—	—
平成2年度		18	14	3	4	4	—	2	1	—
平成3年度		18	12	4	2	4	—	1	1	1

# 総務庁長官特別賞 受賞者のよろこび



水海道市立菅原小学校2年

渡辺晃子・吉澤杏奈 (写真右)

かんぱつてよかった  
とうけいグラフ  
わたなべあき子  
「とうけいが入しょうしたよ。そうむちょう長かんしくべつしゅうだ、て。」  
と先生から聞いた時は、本当にびっくりしました。  
「おめでどう。」  
と友だちに言われて、はく手をもりました。ちょうとはずかしかったです。  
お家の人もよろこんでいました。おいしいちゃんは、うらやましそうです。いいこにこしてました。  
夏休みは、あつくて学校に行くのがたいへんでした。でも、あんなちゃんとうだんしながらがんばつてとうけいグラフをしあげました。一ばん大へんだったのは、紙をこまかくきったり、はったりしたことです。色ぬりは、色がまざらないように気をつけました。さい後にたのしかつたことは、先生とお友だちといっしょにおひるごはんを食べたことです。できれば、また来年もやりたいと思います。

かんぱつてよかった  
とうけいグラフ  
よしざわあんな  
わたしたちが作ったとうけいグラフが、そうむちょう長かんしゅうにえらばれたことを、先生から聞いた時は、とってもびっくりしました。すぐうれしかったです。  
とうけいグラフを作りはじめたころは、字を書いたり、いろいろな顔を小さくかいてはったりするのが大へんでした。でも、作っているうちに、とってもたのしくなりました。そして、とうけいグラフがで上がった時は、とってもよかったです。  
本当にしょうに入るなんて思いませんでした。  
わたしたちのとうけいグラフがしょうにえらばれたのは、そめ谷先生や、おともだちのみんなが、おうえんしてくれたからだと思います。  
今は、あつかった夏休みにがんばって本当によかったですと思います。また来年もやってみたいなと思います。

# 統計はあなたが主役 みんなの財産

## — 平成3年度統計の日ポスター標語 —

### 1. “統計の日”って知っていますか？

社会経済が複雑多様化するなかで、統計は的確な現状把握と将来予測の基礎資料としてますます重要なものになっています。

一方、統計を取り巻く環境は、プライバシー意

識の高まり、不在勝ち世帯の増加等年々厳しさを増しています。

国では、統計思想の一層の普及啓蒙を図り、統計調査に対する国民の理解を深めるため10月18日を統計の日と定めています。

統計の日は、我が国最初の近代的生産統計である「府県物産表」に関する太政官布告が公布された明治3年9月24日(太陰暦)を太陽暦に換算して10月18日としたものであります。  
(昭和48年7月30日閣議決定)

### 統計の日ポスターの標語

統計の日にはポスターが作成され、標語が掲載されますがそれぞれ統計の特性が表現されています。昭和55年度からの標語は次のとおりです。

昭和55年度 「統計は未来をひらく道しるべ」

56 「進路よし」

(羅針盤のデザイン)

57 「地球の朝はデータで始まる」

(地球儀のデザイン)

58 標語なし

59 「ここにも小さな統計の芽」

(子供の写真を使用)

60 「データはぼくらの名監督」

(野球少年の写真)

61 「明日にトライ」

—先を読み暮しに役立つ統計—

昭和62年度 「みんなでつくった」

—こども達も統計の必要性、重要性を知っています—

63 「明日がみえる」

—確かなデータを利用しましょう—

平成元年度 「水と空気と統計と」

—めだたなくても人と社会を生かしています—

2 「統計は世界をつなぐ共通語」

### 統計の日を中心とした県の統計普及事業

◇統計グラフコンクール

(県審査9月19日～20日)

◇統計データフェア

(10月5日～6日 国営常陸海浜公園)

◇統計大会(11月20日 県民文化センター)

## 統計インフォメーションNo.31から

## 2. 統計調査はどのように区分されるのか？

統計調査は、法令上区分すると次の3種類になります。

○指定統計調査

国，地方公共団体が作成する統計調査で，総務庁長官が指定し，その旨を公示したもの

平成2年実施件数 49件

○承認統計調査

国の行政機関が総務庁長官の承認を受けて統計報告を徴集するもの

平成2年承認件数 413件

○届出統計調査

国，都道府県，市，日本銀行等が実施する統計調査で，総務庁長官に届け出たもの

平成2年受理件数 新規130件，変更71件，  
中止3件

統計課では，平成3年度に指定統計調査18件，届出統計調査5件（県単独調査）を実施しますが，このほか他の課でも統計調査を実施しています。

## 3. “統計調査員”とは？

統計調査員は，統計調査事務の中でも，最も重要な部分である実地調査を担当していますが，近年，雇用情勢等から調査員の希望者も少なく，優秀な調査員の確保が統計調査実施上の一つの課題でもあります。

○登録調査員制度

統計調査員の確保には，市町村において統計調査員として適任者を予め登録しておき，この中から調査の都度任命するという方法をとっています。

現在（平成3年3月31日）県内で登録されている調査員は，7,223名います。（男6,428名・女795名，平均年齢60歳）

○統計調査員の身分

国勢調査員は，総務庁長官から任命されますので一般職に属する非常勤の国家公務員，その他の調査員は大部分知事から任命されますので特別職に属する非常勤の地方公務員となります。

○報酬（統計調査員手当）

統計調査員の報酬は，国家公務員の行政職俸給表を基準に換算した日額を基本として，これにそれぞれの統計調査量に応じて稼働日数を乗じて決められます。

平成3年度の日額単価は5,640円（公務能率向上率23/25）です。

## 4. 調査結果の公表はいつ行なわれるのか？

・統計課では，大部分の調査についてその結果を，まず速報として概況を公表し，詳細は調査結果報告書としてまとめています。

また，毎月実施される調査については，月報としてまとめ公表しています。

「毎月公表している統計刊行物」

- ア 茨城県の人口と世帯(推計)
  - イ 茨城県消費者物価指数
  - ウ 水戸市消費者物価指数(速報)
  - エ 茨城県鉱工業指数
  - オ 茨城県の賃金、労働時間及び雇用の動き
- ・これら統計刊行物については、市町村、県等の行政、教育機関等に配布し、また、県行政情報センターに配架しています。

なお、県統計協会(企画部統計課内)で頒布しているものもあります。

## 5. 茨城の1日

本県の1日を統計数字で見ってみました(この数字は最近1年間の数値を1日当たりに換算したものです)。

[資料：茨城県統計年鑑等]

☆人口	2,874,199人	) (平成3年 9月1日現在)
男	1,434,790人	
女	1,439,409人	
世帯	853,852世帯	

人口の増加(平成2年)

自然増 +27人

出生 79人

死亡 52人

社会増 +46人

転入 375人

転出 329人

☆着工新設住宅戸数(平成2年)

持家 44戸, 貸家 48戸, 給与住宅 2.4戸,

分譲住宅 23戸

☆入込観光客数(平成元年)

7万9千人

☆旅券発行件数(平成2年)

265件

☆鉄道乗客数(平成元年度)

J R東日本 50万9千人

その他 6万1千人

☆一般乗合旅客自動車輸送人員(平成元年度)

27万9千人

☆貨物取扱量(平成元年度)

J R東日本 1263トン

☆引受郵便物取扱数(平成元年度)

普通通常 49万6千通, 特殊通常 1万8千通, 小包 5千戸

☆販売量

• 清酒(1.81瓶)	5万4千本	) (昭和 63年度)
ビール(大瓶)	45万1千本	
ウイスキー(720ml)	2万4千本	

• たばこ(平成元年度) 1932万本

• 灯油(平成2年) 1823kl

• ガソリン(平成2年) 3543kl

☆工業製品出荷額(平成元年)

273億円

☆電力使用量(平成元年度)

3550万KW

☆商業販売額(昭和63年)

卸・小売業 176億円, 飲食店 5億円

☆相談件数

- 児童相談所(平成元年) 11件
- 婦人相談(昭和63年) 3件
- 消費生活相談(平成2年) 10件

☆病院(平成元年度)

- 外来患者延数
  - 一般病院 3万3482人
  - 精神病院 616人
- 在院患者延数
  - 一般病院 2万0040人
  - 精神病院 5430人

☆公立図書館貸出冊数(平成元年度)

8213冊

☆運転免許試験(平成元年度)

• 受験者数

第1種免許 396人

第2種免許 13人

• 合格者数

第1種免許 258人

第2種免許 2人

☆交通事故(平成2年)

発生件数 39.5件, 負傷者 50.7人  
死者 1.2人

☆救急出場(平成元年度)

出場件数 139件, 搬送人員 141人

☆火災(平成2年)

発生件数 4.1件, 損害額 1158万円

☆刑法犯罪(平成2年)

発生件数 76件, 検挙件数 39件

(統計課・普及指導グループ)

